伊香保八景

温泉畧記
長野縣下信濃國諏訪郡北山村字冷山の官林中に
一の温泉あり抑信州地方ハ噴火山の脈絡を通ずるが
故に諸方に温泉多き中に此冷山乃鑛泉ハ尤も明治
十年中獨逸國の博士アルチン氏の試驗を受て分拆
せし硫酸礬土加里硫酸石灰硫酸苦土格魯兒那篤
僧母格魯兒加里烏母の氣を含有せる物にして
其効能に至りてハ
○發疹○小瘡○頑癬○經久頑固潰瘍○黴毒性骨痛
○瘰癧○痔労○耳漏○瘰癧性慢性角膜炎
○眼瞼潰瘡○僂麻質私○佝僂病○麻痺
○感冒シ易キ癖者○白帶下○月經不調
右等の病ひを癒ること妙なれど其症に因て冷熱乃適量
あるも此鑛泉ハ冷山の名ある故か温度に乏しきを以て煮沸し
て人體の度に適さしむ其浴室を三等に分ちぬるれも數きょく
來客乃好む所に從ひ又宿料等も之に準じ青もて旬も疎
勿にせる事なれバ花散初る春の暮より避暑の時節を
盛とし更に行秋の月も頃まで変る野山の景色を見
つつ月日を重ねて入浴あらバ前に掲る効能の他にも種々の
奇効ありて熱海箱根草津伊香保の名に負ぬ温泉に讓
ぬ迄如何なる病も全快なれバ遠きを厭わず御来車を冀ふ
信濃國諏訪郡原村
湯本起業人行田長右衛門出店

畑宿
立場
早雲寺
東海道
広重